

第一章

本市の概況

1. 本市の人口特性、人口動態等
2. 地域の特性及び特色
3. 将来推計人口 —平成 52 年の推計人口を基礎として—

1. 本市の人口特性、人口動態等

(1) 人口・世帯動向

本市の人口は、国勢調査によると、平成 22 年 10 月 1 日時点において 77,548 人、世帯数は 30,962 世帯、1 世帯当りの人員は 2.50 人となっています。

人口の推移をみると、平成 2 年から平成 17 年まで増加傾向にありましたが、平成 22 年に減少に転じています。

世帯数は、一貫して増加が続いており、それに伴い 1 世帯当りの人員は減少しています。

表 1.1.1 人口・世帯数の推移

	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
人口 (人)	67,035	68,842	75,091	77,673	77,548
世帯数 (世帯)	21,853	24,027	27,611	29,500	30,962
1 世帯当りの人員 (人)	3.07	2.87	2.72	2.63	2.50
人口増加率 (%)	—	2.70	9.08	3.44	-0.16
世帯数増加率 (%)	—	9.95	14.92	6.84	4.96

※人口増加率、世帯数増加率は 5 年前と比較

資料：各年国勢調査

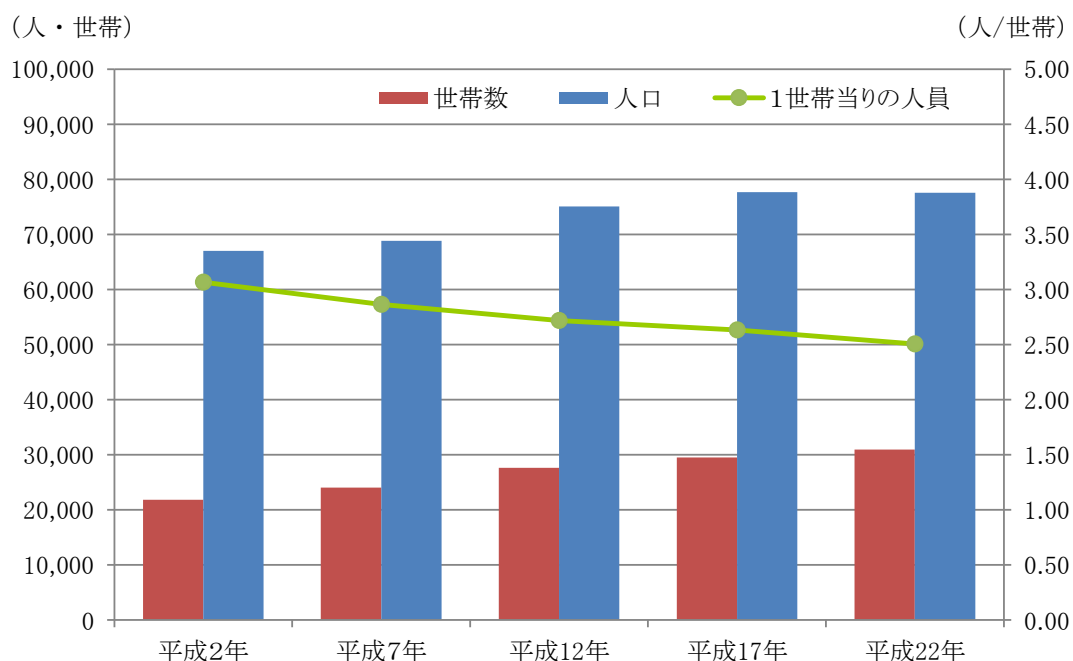


図 1.1.1 人口・世帯数の推移

大阪府がまとめた推計結果によると、本市の人口は平成 19 年まで微増傾向にありましたが、平成 20 年より減少に転じ、微減傾向が続いています。なお、本市の人口のピークは平成 19 年 12 月 1 日時点の 78,560 人（住民登録人口、外国人住民分含む）となっています。

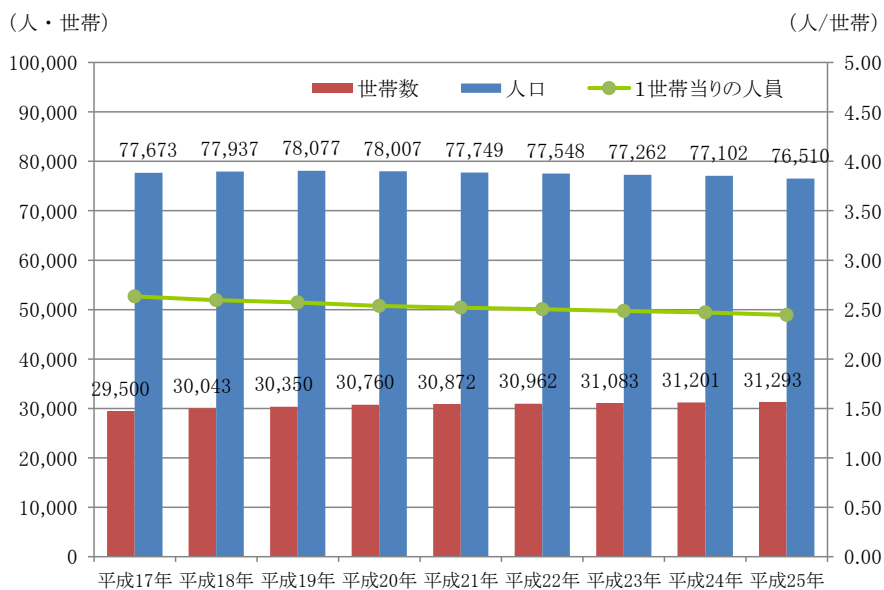


図 1.1.2 近年の人口・世帯数の推移

資料：大阪府統計年鑑（各年 10 月 1 日）
（平成 17、22 年は国勢調査、それ以外は大阪府の推計による。）

（2）年齢別構成人口及び家族類型別構成割合

本市の年齢別構成人口は、国勢調査によると、平成 22 年 10 月 1 日時点において年少人口は 12,428 人（16.1%）、生産年齢人口は 49,570 人（64.1%）、老年人口は 15,344 人（19.8%）となっています。

年齢別構成人口の推移をみると、高齢化率が増加傾向、生産年齢人口率及び年少人口率が減少傾向にあり、平成 22 年には老年人口が年少人口を上回りました。

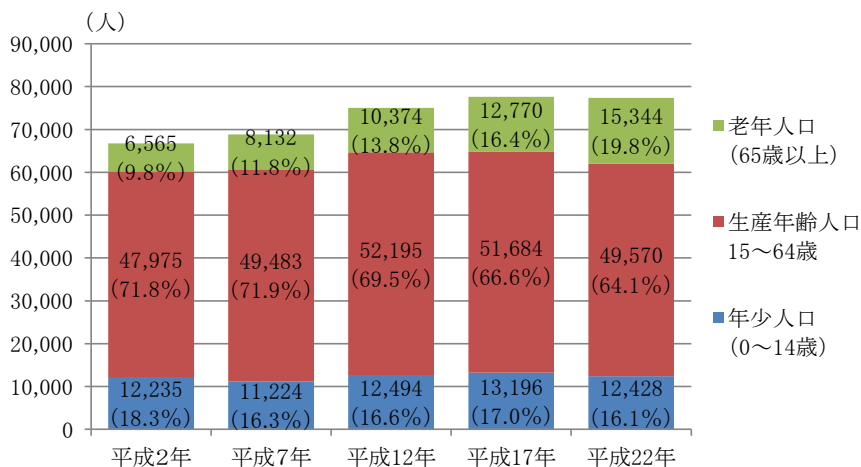


図 1.1.3 年齢別構成人口の推移

資料：各年国勢調査
※不詳は除く
※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

平成 22 年 10 月 1 日時点の総人口に占める 5 歳階級別人口の構成割合を国・府と比較すると、35 歳から 44 歳、0 歳から 14 歳の人口割合が高くなっており、家族類型別の構成割合において「夫婦と子供」の世帯割合が高くなっており、また、「夫婦と子供」の世帯のうち、6 歳及び 18 歳未満の世帯員を含む世帯の割合も国・府と比較し高いことから、子育て世帯が多いと考えられます。一方、50 歳以上の割合及び単独世帯の構成割合は国・府と比較して低い傾向にあります。

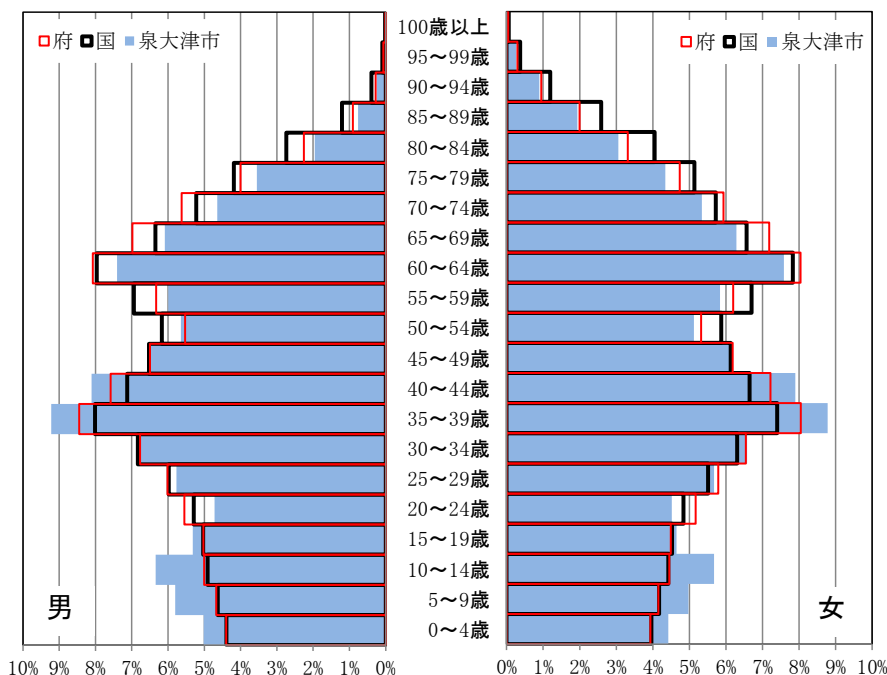


図 1.1.4 5 歳階級別人口の構成割合（総人口比）

資料：国勢調査（平成 22 年）
※不詳は除く

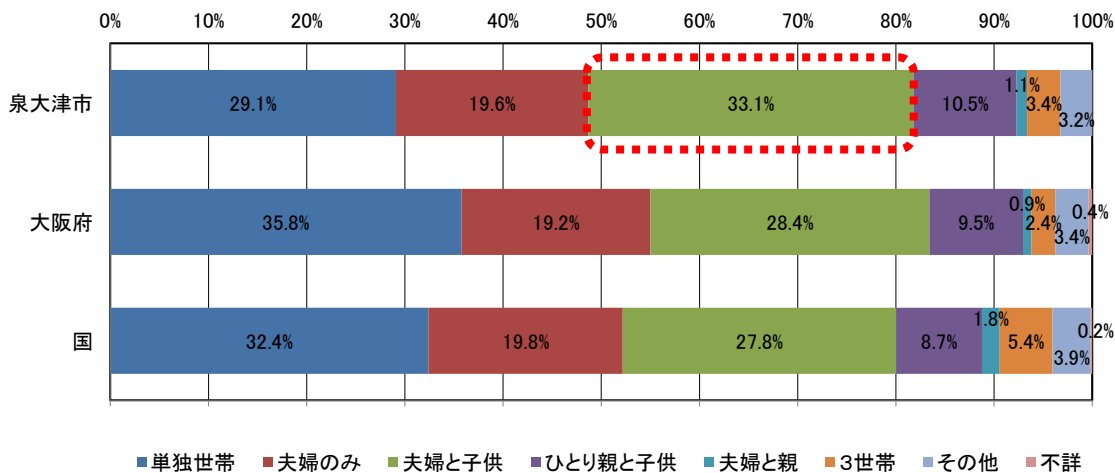


図 1.1.5 家族類型別の構成割合

表 1.1.2 「夫婦と子供」世帯における子供の年齢別世帯数と割合

	総数 （「夫婦と子供」世帯数）	6 歳未満世帯員のいる 世帯数及び割合	18 歳未満世帯員のいる 世帯数及び割合
泉大津市	10,239	2,879 (28.1%)	6,476 (63.2%)
府	1,086,224	289,128 (26.6%)	626,577 (57.7%)
国	14,439,724	3,850,731 (26.7%)	8,326,782 (57.7%)

資料：国勢調査（平成 22 年）

(3) 住宅数及び自治会加入率

本市の住宅数は一貫して増加が続いており、昭和63年(22,960戸)から平成20年(33,660戸)までの20年間で約50%増加していることから、都市化が進み、大阪のベッドタウンとして発展してきたことがうかがえます。

自治会加入率については、世帯数が増加傾向にある中、自治会加入世帯は減少傾向にあり、平成19年時点の64.8%から6年間で60.0%まで減少しています。

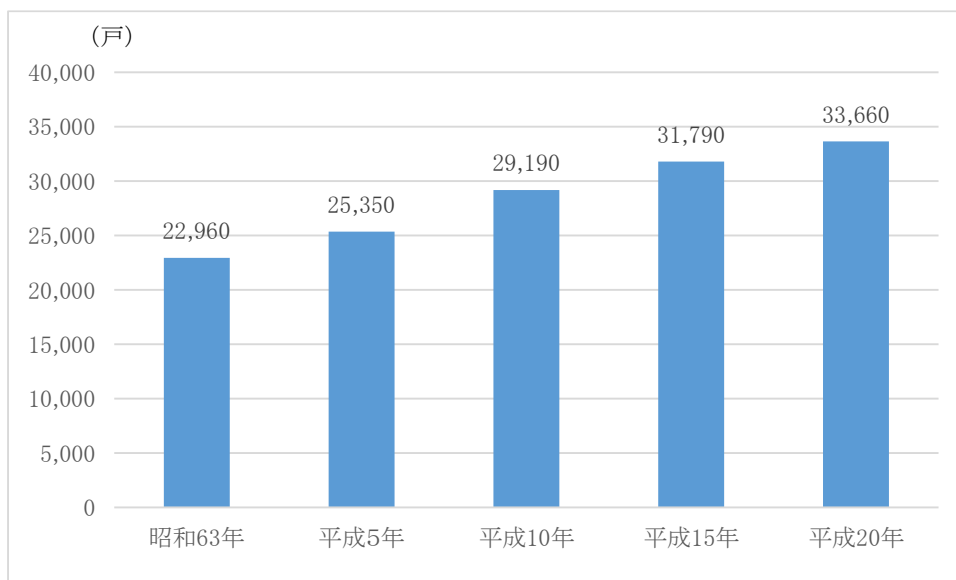


図 1.1.6 住宅数の推移

資料：住宅・土地統計調査（各年10月1日）

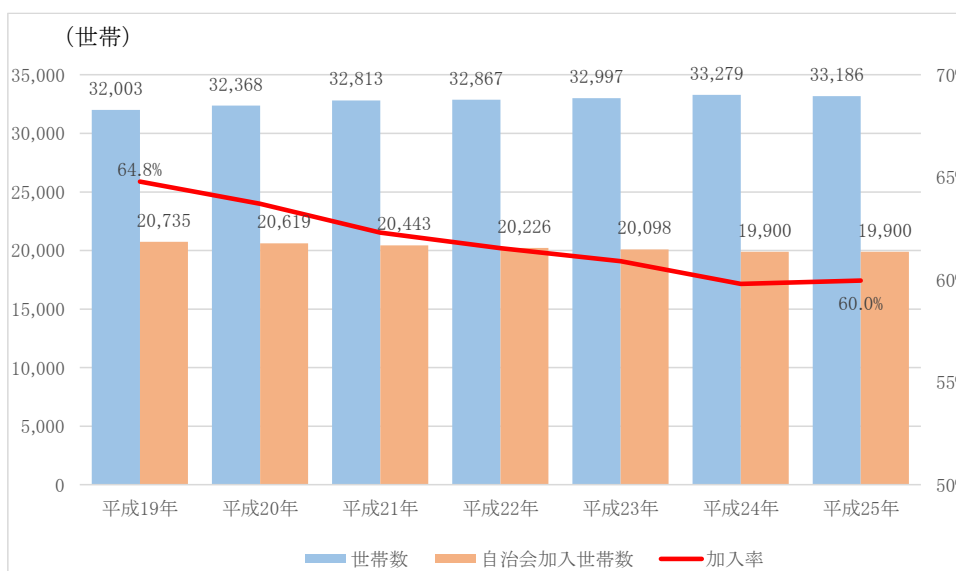


図 1.1.7 自治会加入世帯及び加入率

資料：泉大津市人権市民協働課（各年4月1日）

2. 地域の特性及び特色

地域の特性及び特色を整理するにあたり、小学校地区を最小地区単位とします。

なお、小学校地区とは、小学校区をもとに設定したもので、小学校区における調整区域については、考慮しておりません。また、地区人口については、町丁目別の住民登録人口を各小学校地区別にまとめたものです。

表 1.2.1 地域の特性及び特色

		①旭小学校地区	②穴師小学校地区	③上條小学校地区	④浜小学校地区
交通	最寄駅	泉大津	泉大津・和泉府中（和泉市）	北助松	泉大津・松ノ浜
	主要道路	府道 38 号（富田林泉大津線）	国道 26 号 府道 38 号（富田林泉大津線）	府道 29 号（大阪臨海線） 府道 204 号（堺阪南線）	府道 29 号（大阪臨海線） 府道 204 号（堺阪南線）
地区人口（人） （H25.10.1）		9,132	10,496	10,146	8,021
人口密度（人/ha）		105.0	85.2	78.0	30.1
高齢化率（%） （H19→H25）		13.9 → 17.0	18.1 → 23.5	20.0 → 24.8	16.6 → 20.6
平成 19 年 対人口比率（%） （H19→H25）		98.2	96.4	95.3	95.9
国・府等の施設		ハローワーク・労働基準監督署	—	—	大阪府港湾局・フェリーターミナル
地区概要		本地区は、本市の南西に位置し、市役所や市立図書館、勤労青少年ホーム等の公共施設が多くあるほか、地区全域に住宅地が広がっている。 また、泉大津駅前には本市の中心市街地となっており、ホテル・大型商業施設等がある。	本地区は、本市中央から山側に位置し、和泉市と隣接している。 地区全域に住宅地が広がっており、国道 26 号沿道には商業施設等が多数ある。 なお、穴師公園、穴師小学校、泉穴師神社を含む地域は風致地区に指定されている。	本地区は、本市の北部に位置し、高石市と隣接しており、阪神高速 4 号湾岸線助松出入口や助松 JCT、堺泉北有料道路など、交通の結節点になっている。 また、大阪臨海線より海側は工業地帯、山側は住宅地となっており、北助松駅前には商店街を形成している。	本地区は、本市の海側に位置し、阪神高速 4 号湾岸線泉大津出入口がある。 大阪臨海線より海側は物流拠点のほか、北九州に接続するフェリーが運航している。 また、大阪臨海線より山側は、住宅地となっており、松之浜町は風致地区に指定されている。
		⑤条東小学校地区	⑥条南小学校地区	⑦楠小学校地区	⑧戎小学校地区
交通	最寄駅	北助松	松ノ浜	和泉府中（和泉市）	泉大津
	主要道路	国道 26 号 府道 38 号（富田林泉大津線）	国道 26 号	国道 26 号 府道 38 号（富田林泉大津線）	府道 29 号（大阪臨海線） 府道 204 号（堺阪南線）
地区人口（人） （H25.10.1）		7,933	12,633	7,393	10,885
人口密度（人/ha）		92.4	106.3	58.5	32.5
高齢化率（%） （H19→H25）		19.4 → 24.7	17.0 → 21.1	15.2 → 18.5	20.6 → 23.4
平成 19 年 対人口比率（%） （H19→H25）		96.2	100.2	103.5	96.7
国・府等の施設		弥生文化博物館	税務署・泉大津高校	—	泉大津警察署・フェニックス
地区概要		本地区は、本市の北東に位置し、高石市・和泉市と隣接しており、本市の中で地区人口が最も少ない。 国道 26 号沿道には商業施設等があるほか、地区には池上曽根弥生学習館があり、周辺には弥生文化博物館や池上曽根史跡公園などがある。	本地区は、本市のほぼ中央に位置し、本市の中で地区人口が最も多い。 総合体育館や保健センター、消防出張所等の公共施設があるほか、松ノ浜駅前には、あすと松之浜がある。 また、地区全域に住宅地が広がっている。	本地区は、本市の南部に位置し、大津川（牛滝川）を境に泉北郡忠岡町、また山側は和泉市と隣接しており、本市の中で地区人口が最も少ないが、近年地区人口が増加している。 国道 26 号沿道には商業施設等があるほか、地区全域に住宅地が広がっている。	本地区は、本市の南西に位置し、大津川を境に泉北郡忠岡町と隣接している。 大阪臨海線より海側はフェニックスや物流倉庫があり、山側は住宅地となっている。 また、「紀州街道」の海側に並行して通る「浜街道」には歴史ある街並みが残されている。

各小学校地区の範囲は下図の通りです。

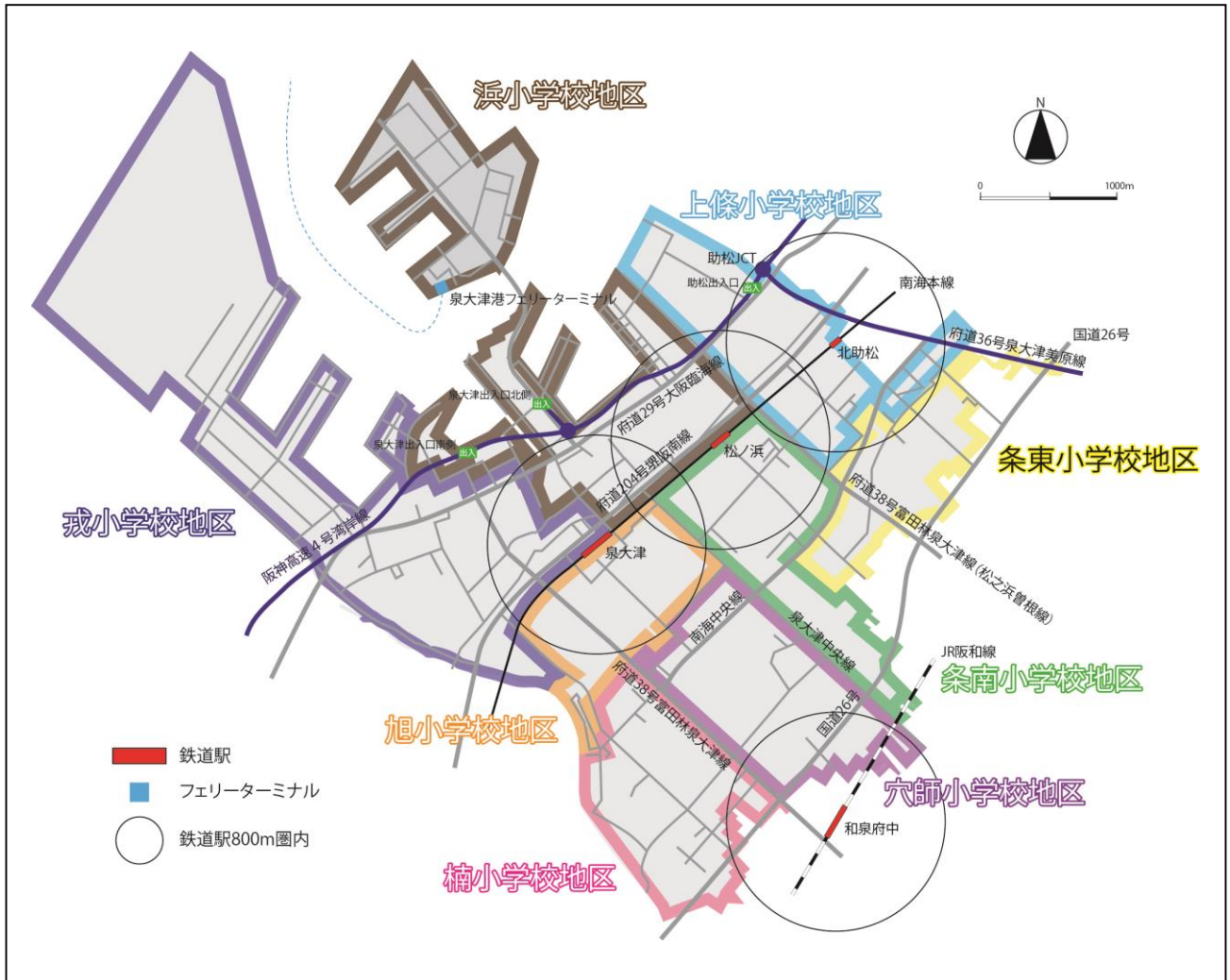


図 1.2.1 小学校地区

①旭小学校地区

地区人口は9,132人で、過去6年間の推移をみると微減傾向にあります。老年人口及び高齢化率は増加傾向にありますが、本市の中で最も高齢化率が低い地区です。

また、生産年齢人口及び年少人口は微減傾向にありますが、本市の中で最も生産年齢人口率が高くなっています。



表 1.2.2 年齢別構成人口

旭小学校地区	総数 (人)	0～14歳 (人)	15～64歳 (人)	65歳以上 (人)
平成19年	9,297	1,775	6,234	1,288
平成20年	9,197	1,727	6,113	1,357
平成21年	9,202	1,696	6,115	1,391
平成22年	9,166	1,664	6,110	1,392
平成23年	9,122	1,632	6,087	1,403
平成24年	9,197	1,599	6,132	1,466
平成25年	9,132	1,546	6,038	1,548

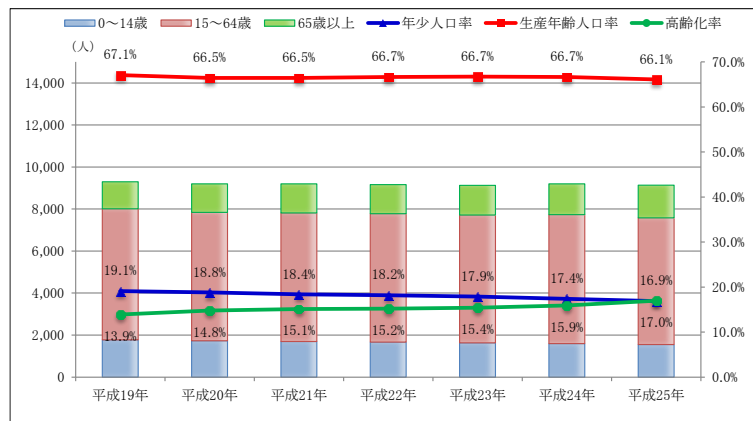
資料：住民基本台帳（各年10月1日）

表 1.2.3 人口増減指数

旭小学校地区	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成19年	100	100	100
平成20年	97	98	105
平成21年	96	98	108
平成22年	94	98	108
平成23年	92	98	109
平成24年	90	98	114
平成25年	87	97	120

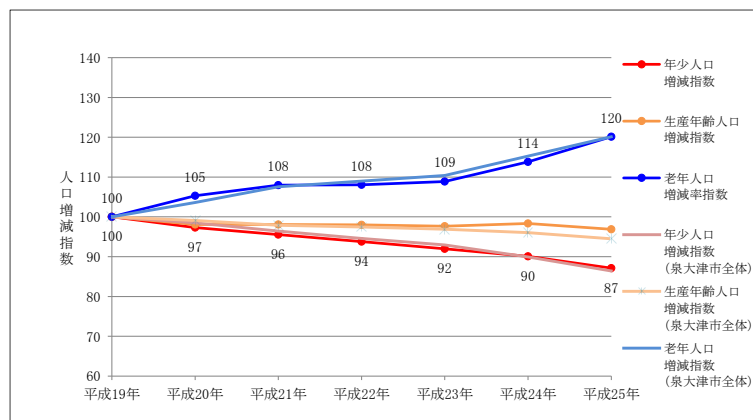
※平成19年を100とした場合の人口増減指数

資料：住民基本台帳（各年10月1日）



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.2 年齢別構成人口



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.3 人口増減指数

②穴師小学校地区

地区人口は10,496人で、過去6年間の推移をみると微減傾向にあります。
 老年人口及び高齢化率は増加傾向にあり、高齢化率は平成19年から平成25年までの6年間で約5%増加しています。
 また、生産年齢人口及び年少人口は微減傾向にあります。



表 1.2.4 年齢別構成人口

穴師小学校地区	総数(人)	0～14歳(人)	15～64歳(人)	65歳以上(人)
平成19年	10,889	1,738	7,184	1,967
平成20年	10,934	1,731	7,145	2,058
平成21年	10,786	1,666	6,964	2,156
平成22年	10,855	1,700	6,943	2,212
平成23年	10,691	1,610	6,831	2,250
平成24年	10,686	1,539	6,786	2,361
平成25年	10,496	1,465	6,566	2,465

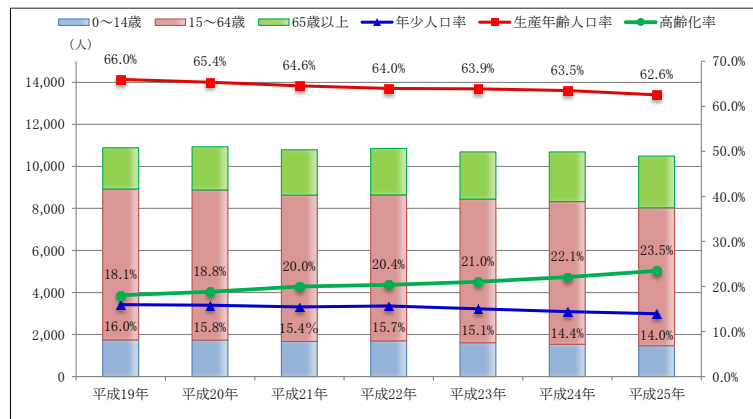
資料：住民基本台帳（各年10月1日）

表 1.2.5 人口増減指数

穴師小学校地区	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成19年	100	100	100
平成20年	100	99	105
平成21年	96	97	110
平成22年	98	97	112
平成23年	93	95	114
平成24年	89	94	120
平成25年	84	91	125

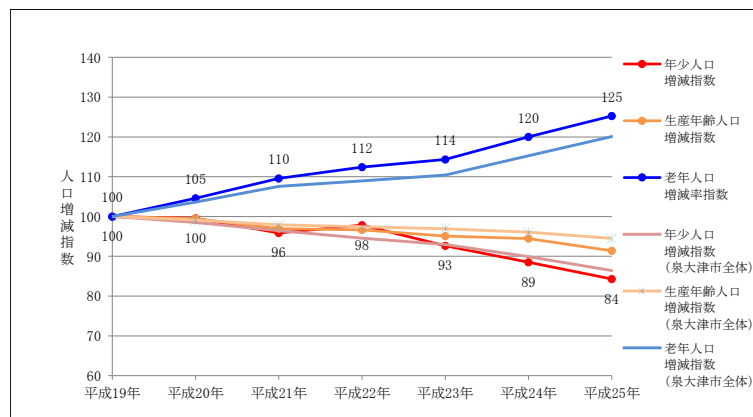
※平成19年を100とした場合の人口増減指数

資料：住民基本台帳（各年10月1日）



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.4 年齢別構成人口



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.5 人口増減指数

③上條小学校地区

地区人口は10,146人で、過去6年間の推移をみると微減傾向にあります。老年人口及び高齢化率は増加傾向にあり、本市の中で最も高齢化率が高い地区です。

また、生産年齢人口及び年少人口は微減傾向にあります。



表 1.2.6 年齢別構成人口

上條小学校地区	総数(人)	0～14歳(人)	15～64歳(人)	65歳以上(人)
平成19年	10,646	1,541	6,981	2,124
平成20年	10,558	1,516	6,858	2,184
平成21年	10,598	1,488	6,842	2,268
平成22年	10,438	1,429	6,731	2,278
平成23年	10,371	1,401	6,664	2,306
平成24年	10,272	1,343	6,498	2,431
平成25年	10,146	1,289	6,336	2,521

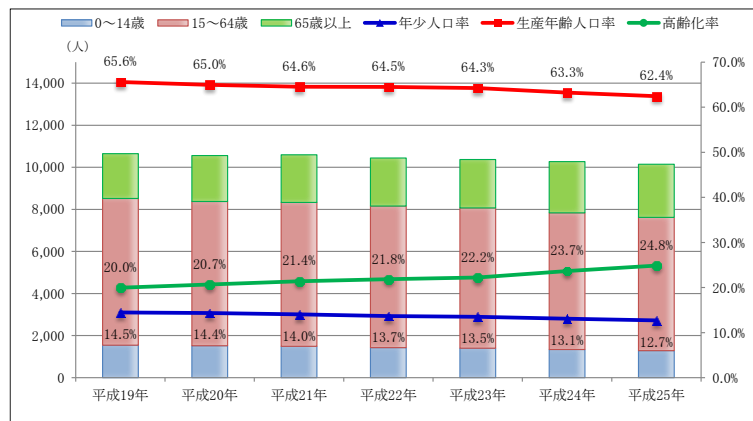
資料：住民基本台帳（各年10月1日）

表 1.2.7 人口増減指数

上條小学校地区	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成19年	100	100	100
平成20年	98	98	103
平成21年	97	98	107
平成22年	93	96	107
平成23年	91	95	109
平成24年	87	93	114
平成25年	84	91	119

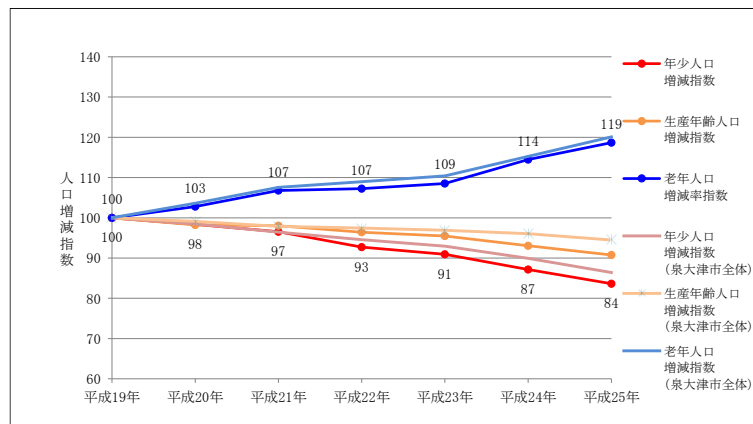
※平成19年を100とした場合の人口増減指数

資料：住民基本台帳（各年10月1日）



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.6 年齢別構成人口



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.7 人口増減指数

④浜小学校地区

地区人口は8,021人で、過去6年間の推移をみると微減傾向にあります。
 老年人口及び高齢化率は増加傾向にあり、生産年齢人口及び生産年齢人口率は微減傾向にあります。
 また、年少人口及び年少人口率は減少傾向にあり、年少人口率は平成19年から平成25年までの6年間で約5%減少しています。



表 1.2.8 年齢別構成人口

浜小学校地区	総数 (人)	0～14歳 (人)	15～64歳 (人)	65歳以上 (人)
平成19年	8,368	1,626	5,349	1,393
平成20年	8,347	1,566	5,338	1,443
平成21年	8,273	1,500	5,268	1,505
平成22年	8,193	1,425	5,241	1,527
平成23年	8,109	1,368	5,212	1,529
平成24年	8,062	1,269	5,219	1,574
平成25年	8,021	1,197	5,174	1,650

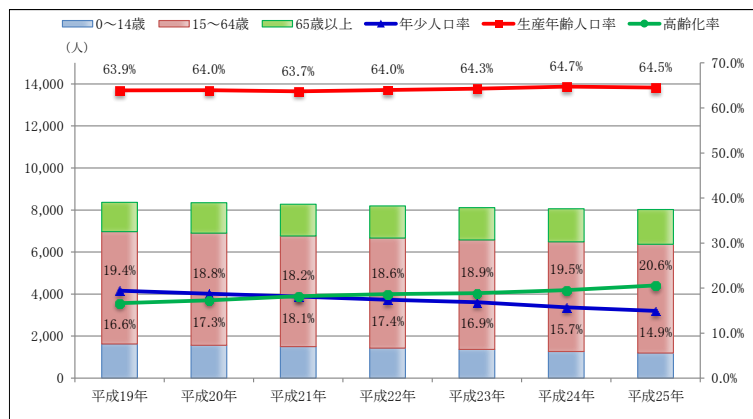
資料：住民基本台帳（各年10月1日）

表 1.2.9 人口増減指数

浜小学校地区	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成19年	100	100	100
平成20年	96	100	104
平成21年	92	98	108
平成22年	88	98	110
平成23年	84	97	110
平成24年	78	98	113
平成25年	74	97	118

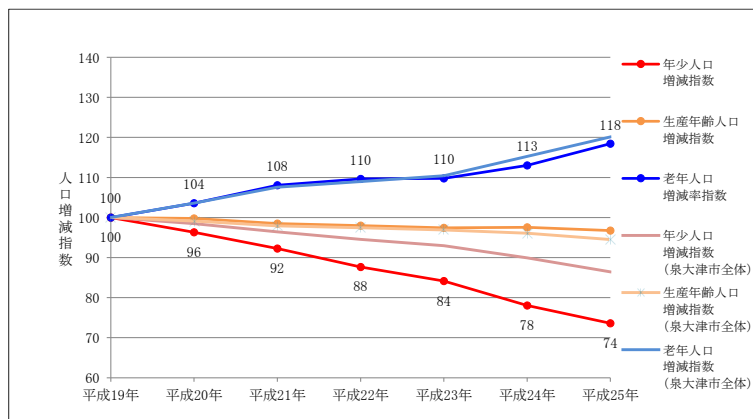
※平成19年を100とした場合の人口増減指数

資料：住民基本台帳（各年10月1日）



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.8 年齢別構成人口



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.9 人口増減指数

⑤条東小学校地区

地区人口は7,933人で、過去6年間の推移をみると微減傾向にあります。

老年人口及び高齢化率は増加傾向にあり、高齢化率は平成19年から平成25年までの6年間で約5%増加しており、上條小学校地区に次いで高齢化率が高い地区です。

また、生産年齢人口及び年少人口は微減傾向にあり、本市の中で最も年少人口が少なく、年少人口率が低くなっています。



表 1.2.10 年齢別構成人口

条東小学校地区	総数(人)	0～14歳(人)	15～64歳(人)	65歳以上(人)
平成19年	8,243	1,089	5,557	1,597
平成20年	8,144	1,040	5,465	1,639
平成21年	8,022	1,005	5,302	1,715
平成22年	8,004	975	5,268	1,761
平成23年	8,067	1,014	5,266	1,787
平成24年	8,005	1,000	5,120	1,885
平成25年	7,933	987	4,990	1,956

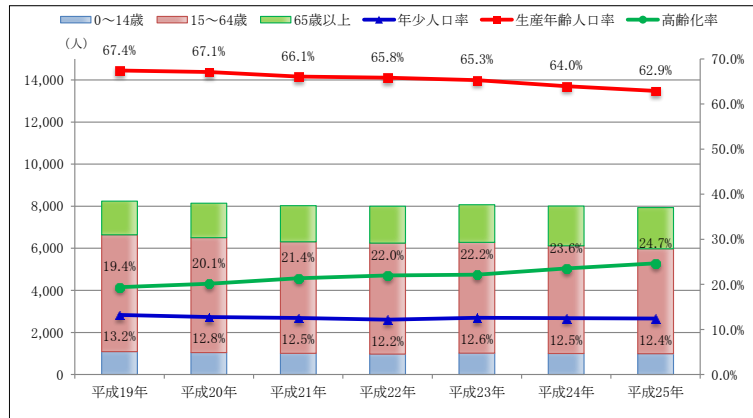
資料：住民基本台帳（各年10月1日）

表 1.2.11 人口増減指数

条東小学校地区	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成19年	100	100	100
平成20年	96	98	103
平成21年	92	95	107
平成22年	90	95	110
平成23年	93	95	112
平成24年	92	92	118
平成25年	91	90	123

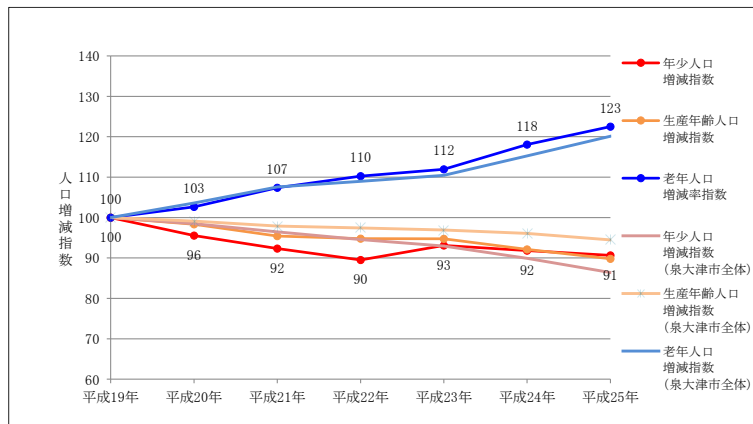
※平成19年を100とした場合の人口増減指数

資料：住民基本台帳（各年10月1日）



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.10 年齢別構成人口



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.11 人口増減指数

⑥条南小学校地区

地区人口は12,633人と本市の中で最も多く、過去6年間の推移をみるとほぼ横ばいとなっています。

老年人口及び高齢化率は増加傾向にあり、本市の中で最も老年人口が多い地区です。

また、生産年齢人口及び年少人口は微減傾向にあるものの、生産年齢人口、年少人口ともに本市の中で最も多くなっています。



表 1.2.12 年齢別構成人口

条南小学校地区	総数(人)	0～14歳(人)	15～64歳(人)	65歳以上(人)
平成19年	12,603	2,101	8,359	2,143
平成20年	12,591	2,036	8,305	2,250
平成21年	12,657	2,025	8,290	2,342
平成22年	12,658	1,968	8,294	2,396
平成23年	12,625	1,924	8,250	2,451
平成24年	12,674	1,888	8,227	2,559
平成25年	12,633	1,816	8,156	2,661

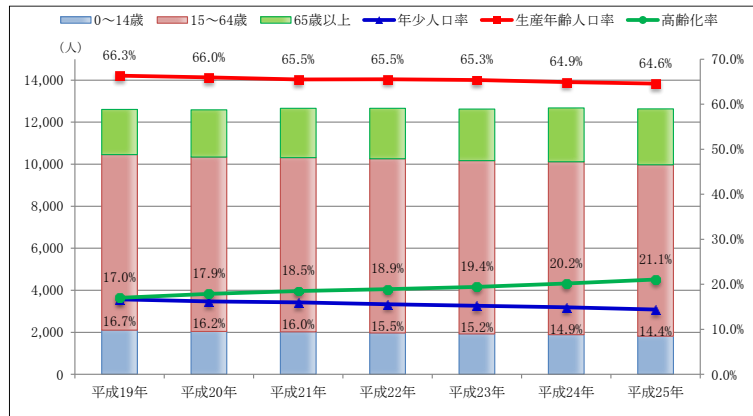
資料：住民基本台帳（各年10月1日）

表 1.2.13 人口増減指数

条南小学校地区	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成19年	100	100	100
平成20年	97	99	105
平成21年	96	99	109
平成22年	94	99	112
平成23年	92	99	114
平成24年	90	98	119
平成25年	86	98	124

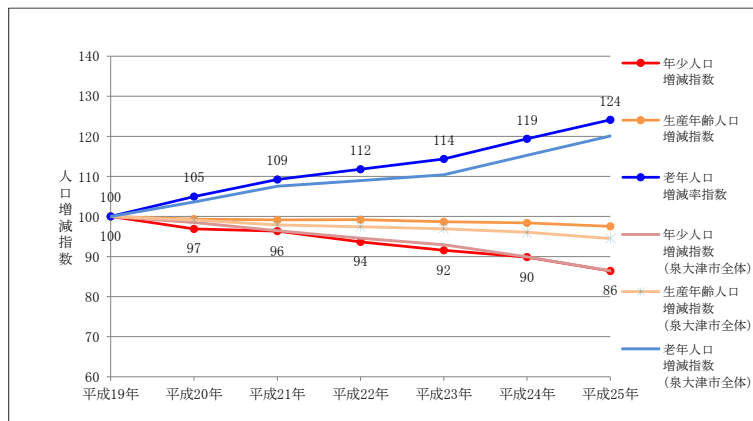
※平成19年を100とした場合の人口増減指数

資料：住民基本台帳（各年10月1日）



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.12 年齢別構成人口



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.13 人口増減指数

⑦楠小学校地区

地区人口は7,393人と本市の中で最も少ないですが、過去6年間の推移をみると増加傾向にあります。

老年人口及び高齢化率は増加傾向にあります、生産年齢人口は横ばいで推移しています。

また、年少人口及び年少人口率は微減傾向にあります、本市の中で最も年少人口率が高い地区です。

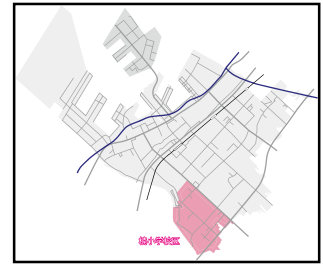


表 1.2.14 年齢別構成人口

楠小学校地区	総数 (人)	0～14歳 (人)	15～64歳 (人)	65歳以上 (人)
平成19年	7,146	1,459	4,598	1,089
平成20年	7,209	1,491	4,590	1,128
平成21年	7,147	1,473	4,512	1,162
平成22年	7,206	1,471	4,545	1,190
平成23年	7,342	1,509	4,616	1,217
平成24年	7,335	1,458	4,589	1,288
平成25年	7,393	1,419	4,603	1,371

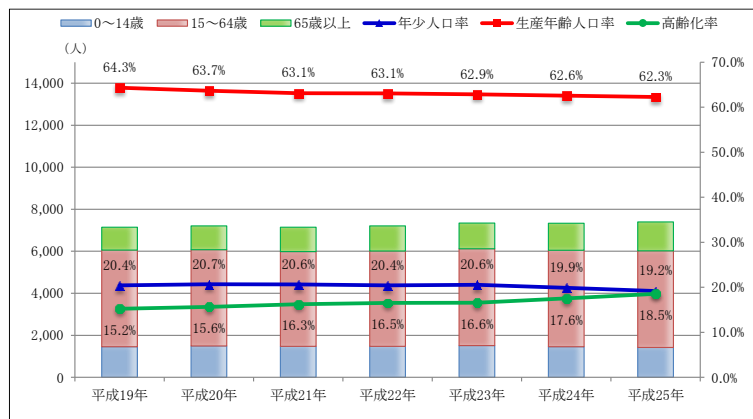
資料：住民基本台帳（各年10月1日）

表 1.2.15 人口増減指数

楠小学校地区	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成19年	100	100	100
平成20年	102	100	104
平成21年	101	98	107
平成22年	101	99	109
平成23年	103	100	112
平成24年	100	100	118
平成25年	97	100	126

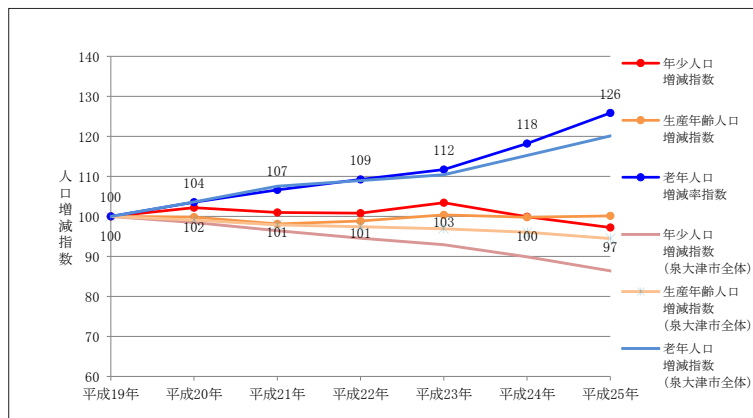
※平成19年を100とした場合の人口増減指数

資料：住民基本台帳（各年10月1日）



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.14 年齢別構成人口



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.15 人口増減指数

⑧戎小学校地区

地区人口は10,885人で、過去6年間の推移をみると微減傾向にあります。老年人口及び高齢化率は増加傾向にあり、条南小学校に次いで老年人口が多い地区です。

また、生産年齢人口及び年少人口は微減傾向にあり、本市の中で最も生産年齢人口率が低くなっています。



表 1.2.16 年齢別構成人口

戎小学校地区	総数(人)	0~14歳(人)	15~64歳(人)	65歳以上(人)
平成19年	11,261	1,817	7,128	2,316
平成20年	11,320	1,841	7,116	2,363
平成21年	11,276	1,825	7,018	2,433
平成22年	11,155	1,798	6,945	2,412
平成23年	11,063	1,761	6,875	2,427
平成24年	10,999	1,725	6,796	2,478
平成25年	10,885	1,643	6,697	2,545

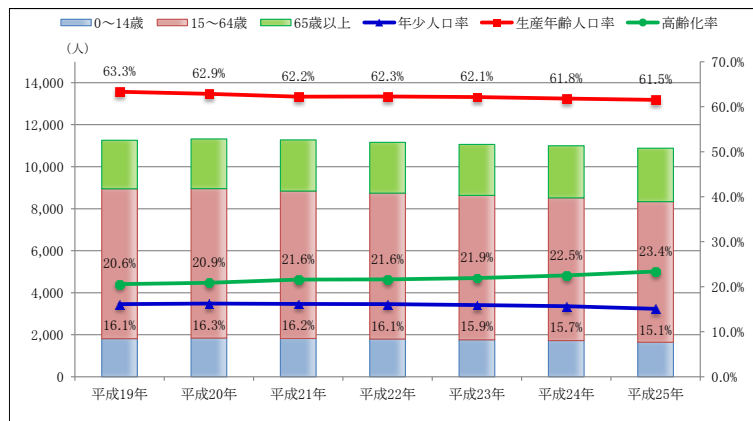
資料：住民基本台帳（各年10月1日）

表 1.2.17 人口増減指数

戎小学校地区	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成19年	100	100	100
平成20年	101	100	102
平成21年	100	98	105
平成22年	99	97	104
平成23年	97	96	105
平成24年	95	95	107
平成25年	90	94	110

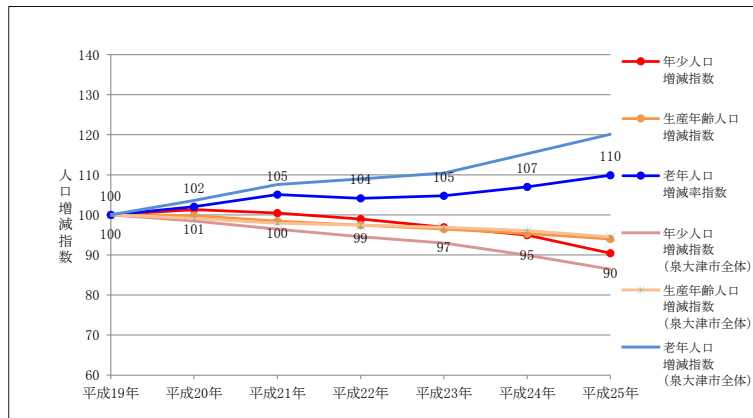
※平成19年を100とした場合の人口増減指数

資料：住民基本台帳（各年10月1日）



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.16 年齢別構成人口



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.2.17 人口増減指数

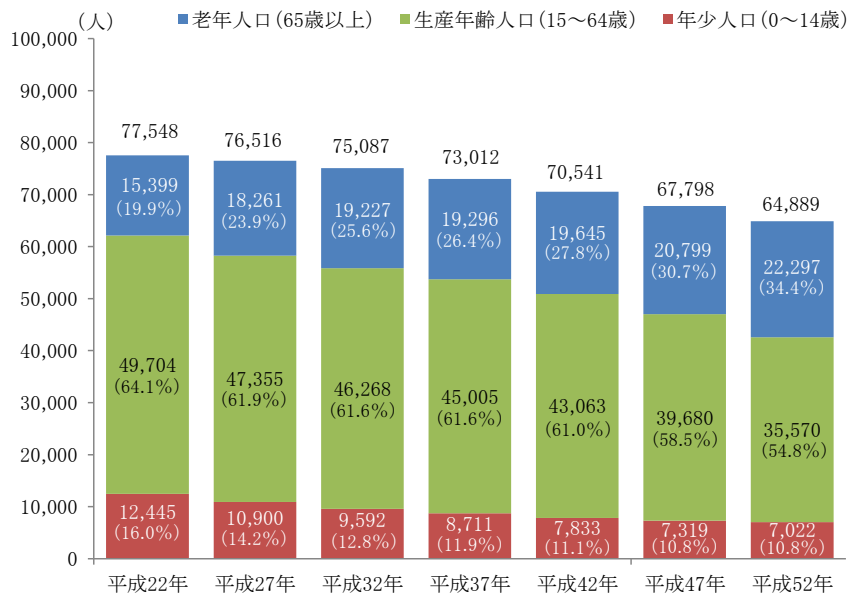
3. 将来推計人口 —平成 52 年の推計人口を基礎として—

(1) 本市の推計人口予測

国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口（平成 25（2013）年 3 月推計）※」によると、平成 52 年の本市の推計人口は全体で 64,889 人となり、平成 22 年の 77,548 人から 12,659 人（16.3%）減少する見込みとなっています。

年齢別構成人口の平成 52 年の推計人口をみると、年少人口は 7,022 人と、5,423 人（43.6%）が減少、生産年齢人口は、35,570 人と 14,134 人（28.4%）が減少しますが、老年人口は 22,297 人と 6,898 人（44.8%）が増加する見込みとなり、本市における高齢化傾向が著しく進行すると予測されます。

※平成 22（2010）年の国勢調査を基に、平成 22（2010）年 10 月 1 日から平成 52（2040）年 10 月 1 日までの 30 年間（5 年ごと）について、男女年齢（5 歳）階級別の将来人口を推計。



※端数処理のため合計と内訳が一致しない場合がある

図 1.3.1 推計人口の推移

表 1.3.1 市全体推計人口

	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年	平成 52 年
総人口 (人)	77,548	76,516	75,087	73,012	70,541	67,798	64,889
年少人口 (0~14 歳) (人)	12,445	10,900	9,592	8,711	7,833	7,319	7,022
生産年齢人口 (15~64 歳) (人)	49,704	47,355	46,268	45,005	43,063	39,680	35,570
老年人口 (65 歳以上) (人)	15,399	18,261	19,227	19,296	19,645	20,799	22,297
年少人口率 (%)	16.0	14.2	12.8	11.9	11.1	10.8	10.8
生産年齢人口率 (%)	64.1	61.9	61.6	61.6	61.0	58.5	54.8
高齢化率 (%)	19.9	23.9	25.6	26.4	27.8	30.7	34.4

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25（2013）年 3 月推計）」

(2) 地区別の推計人口予測

小学校地区別の推計人口をみると、平成 52 年ではすべての地区において人口が減少すると予測され、地区人口減少率が最も高い条東小学校地区では、平成 22 年に比べ 21.5%減少すると予測されます。

一方、小学校地区別の高齢化率は、すべての地区で増加し、30%を超えると予測されます。

表 1.3.2 小学校地区別推計人口

小学校地区	平成 22 年度 (2010 年)		平成 52 年度 (2040 年)					平成 22 年～ 平成 52 年の増減	
	地区人口 (人)	高齢化率 (%)	地区人口 (人)	年少人口 (人)	生産年齢 人口 (人)	老年人口 (人)	高齢化率 (%)	地区人口 増減率 (%)	高齢化率 増減 (%)
旭小学校	9,147	15.5	8,154	877	4,511	2,766	33.9	-10.9	18.4
穴師小学校	10,842	20.7	9,014	985	5,010	3,019	33.5	-16.9	12.8
上條小学校	10,423	22.2	8,291	873	4,464	2,954	35.6	-20.5	13.4
浜小学校	8,183	19.0	6,953	761	3,669	2,523	36.3	-15.0	17.3
条東小学校	7,990	22.4	6,273	647	3,429	2,197	35.0	-21.5	12.6
条南小学校	12,632	19.2	10,715	1,178	5,916	3,621	33.8	-15.2	14.6
楠小学校	7,186	16.8	6,431	722	3,670	2,039	31.7	-10.5	14.9
戎小学校	11,145	22.0	9,058	979	4,901	3,178	35.1	-18.7	13.1
合計	77,548	19.9	64,889	7,022	35,570	22,297	34.4	-16.3	14.5

※国立社会保障・人口問題研究所が公表している将来推計人口は国勢調査のデータをもとに算出しているもので、小学校地区別推計人口については、住民基本台帳の町丁目別人口を国勢調査のデータで割り戻して算出することで、補正しています。

(3) 児童数・生徒数の推計

ここでは、すべての年において「(2) 地区別の推計人口予測」で算出した年少人口等から児童数・生徒数等を推計しています。

各小学校地区別の児童数・生徒数等の推計は、以下の通りです。

この推計からは、すべての地区の学校で児童数・生徒数が減少し、これに伴い学級数も減少すると予測され、今後、余裕教室が生じることが考えられます。

なお、全校学級数の推計にあたっては、1学級を35人と設定し、単純に全児童数を除した場合の通常の学級数であり、実際の学校編成とは異なります。

表 1.3.3 児童数・生徒数の推計

学校	和暦	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年	平成 52 年
	西暦	2010 年	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年
旭小学校	就学前児童数 (人) ※1	746	636	549	481	447	424	409
	児童数 (人) ※2	688	622	533	463	403	368	349
	全校学級数 (学級) ※3	20	18	16	14	12	11	10
穴師小学校	就学前児童数 (人)	747	680	600	536	503	478	458
	児童数 (人)	702	610	563	505	447	415	394
	全校学級数 (学級)	21	18	17	15	13	12	12
上條小学校	就学前児童数 (人)	604	601	543	476	445	426	404
	児童数 (人)	605	500	482	459	398	366	351
	全校学級数 (学級)	18	15	14	14	12	11	11
浜小学校	就学前児童数 (人)	492	484	460	387	368	371	360
	児童数 (人)	682	457	371	390	328	301	302
	全校学級数 (学級)	20	14	11	12	10	9	9
条東小学校	就学前児童数 (人)	449	446	410	363	338	322	293
	児童数 (人)	395	368	359	344	304	280	265
	全校学級数 (学級)	12	11	11	10	9	8	8
条南小学校	就学前児童数 (人)	861	808	716	633	598	574	546
	児童数 (人)	817	705	662	605	529	491	473
	全校学級数 (学級)	24	21	19	18	16	15	14
楠小学校	就学前児童数 (人)	673	518	434	387	360	347	341
	児童数 (人)	599	551	452	362	324	297	286
	全校学級数 (学級)	18	16	13	11	10	9	9
戎小学校	就学前児童数 (人)	736	655	603	526	487	474	461
	児童数 (人)	793	642	530	506	443	402	388
	全校学級数 (学級)	23	19	16	15	13	12	12
東陽中学校	生徒数 (人) ※4	1,095	1,045	842	773	699	607	569
誠風中学校	生徒数 (人)	987	1,008	860	748	662	586	544
小津中学校	生徒数 (人)	544	478	419	418	386	339	316

※1 就学前児童数については、「(2) 地区別の推計人口予測」で算出した0歳から4歳の人口と5歳から9歳の人口の5分の2を足した値。

※2 児童数については、「(2) 地区別の推計人口予測」で算出した5歳から9歳の人口の5分の3と10歳から14歳の人口の5分の3を足した値。

※3 平成26年4月現在、1学級40人学級(1・2年生は35人学級)であるが、ここでは1学級35人学級と設定して学級数を算出している。なお、小数点以下は切り上げし、整数表示とした。

また、小学校の学級数において、「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」(学校教育法施行規則第41条)と定められている。

※4 生徒数については、「(2) 地区別の推計人口予測」で算出した10歳から14歳の人口の5分の2と15歳から19歳の人口の5分の1を足した値。

